



調査区遠景（調査区の大部分が斜面です）



作業風景（斜面で遺構を探しています）



作業風景（黒いところが遺構です）



遺構完掘（斜面にも遺構が見つかりました）

北山城跡

第3次発掘調査 現地説明会資料

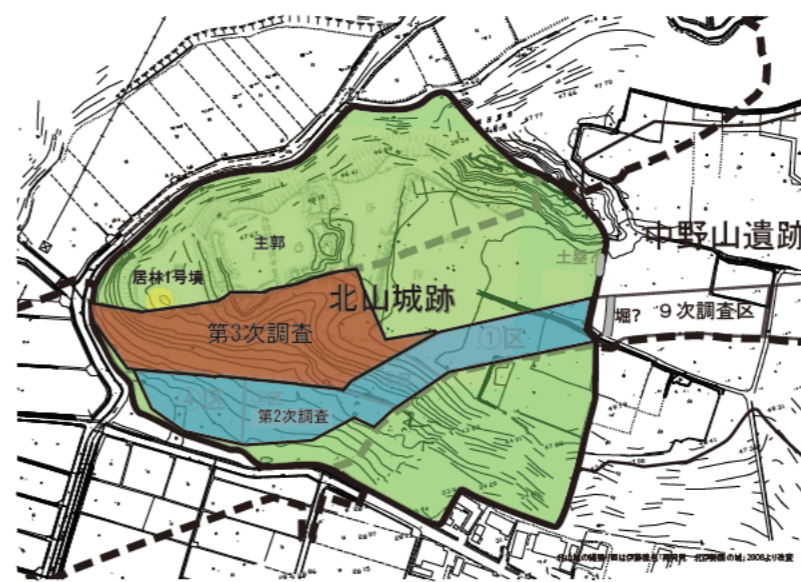
2013年10月5日 三重県埋蔵文化財センター



北山城跡第3次発掘調査全景（西上空から東に向かって撮影）

第3次調査で分かったこと

1. 弥生時代後期～古墳時代初頭の竪穴住居が平坦地のみではなく斜面からも見つかりました。斜面からは他にも溝状の穴や小穴が見つかり、より多くの竪穴住居が存在した可能性があります。
2. 斜面で見つかった竪穴住居の中で、建物内の溝が3条重なって見つかりました。同じ場所で建て替えられており、斜面も居住する場所として継続的に利用されたことが分かりました。
3. 斜面から、居林古墳群に関係があると思われる古墳の周溝と考えられる溝が見つかりました。
4. 調査区北部中央の高まりは、以前から北山城主郭南西部の土塁と考えられてきましたが、調査の結果、土が盛られていたことが明らかとなり、土塁であることが確定できました。



調査区位置図

北山城は、朝明川と員弁川に挟まれた丘陵端部に位置します。昨年度発掘調査を行った第2次調査では、弥生時代後期～古墳時代初頭（約1,800～1,700年前）の竪穴住居が多く見つかりました。

第3次調査は、丘陵西端の斜面を中心に発掘調査を行いました。その結果、丘陵上の平坦な所だけではなく斜面からも竪穴住居が見つかりました。また、古墳の周りを巡る溝と考えられる遺構も見つかりました。

北山城跡第3次発掘調査 現地説明会資料 (新名神高速道路発掘調査ニュース「新あさけのいにしへ No.16」)

三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
TEL:0596-52-1732 / FAX:0596-52-7035 <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/maibun/>
四日市整理所 〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1
TEL:059-363-3195 / FAX:059-363-3196

2013年10月5日



①居林1号墳とL字に曲がる溝
 ・平面の形がL字に曲がる溝を斜面で見つけました。
 古墳の周囲をめぐる溝(周溝)の可能性があります。



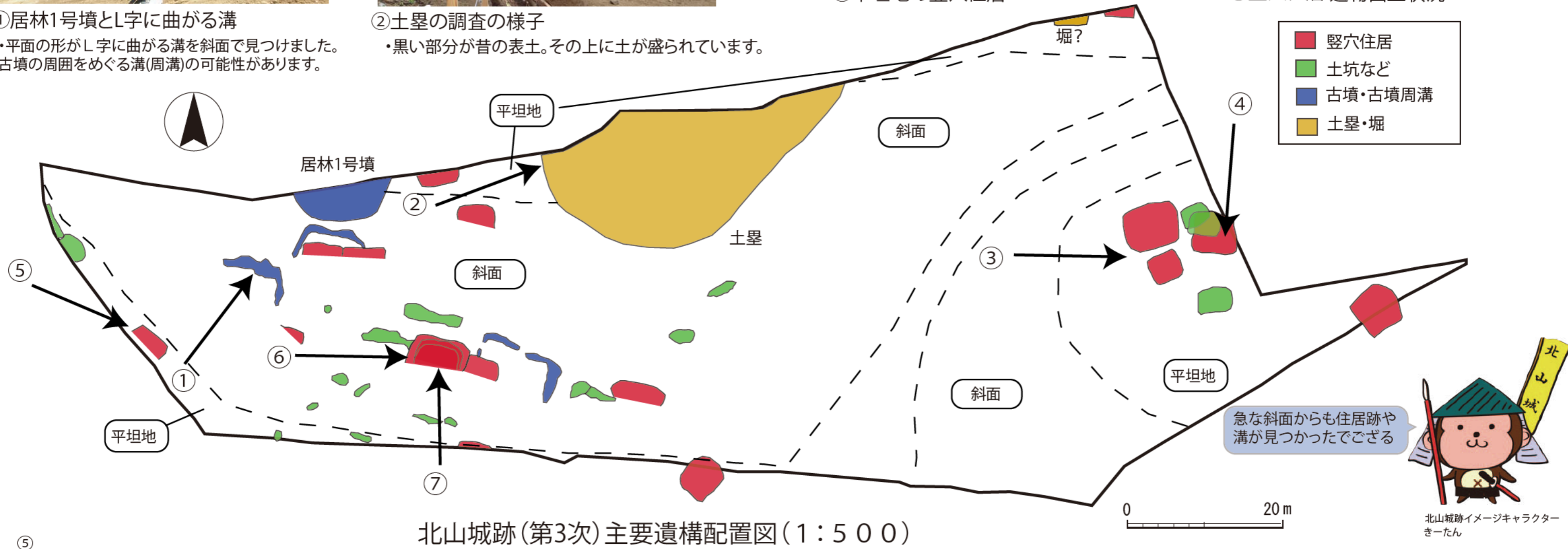
②土塁の調査の様子
 ・黒い部分が昔の表土。その上に土が盛られています。



③平坦地の竪穴住居



④竪穴住居 遺物出土状況



⑤ 低地部平坦地の竪穴住居
 ・昨年度の調査でも、低地部の平坦地で竪穴住居が見つっています。



⑥⑦ 斜面の竪穴住居
 ・同じ場所で溝が3条重なって見つかり、建物が建て替えられたと考えられます。